

「人口減少の克服」と
「地方創生」を目指す

「まち・ひと・しごと創生」

美郷版総合戦略」を策定しました

町 ではこのほど、国の「まち・ひと・しごと創生」の一環として、本町の人口の現状分析と人口の将来展望を示す「美郷版人口ビジョン」（以下「人口ビジョン」という。）と、人口減少の克服と地方創生に向けた基本目標や具体的な施策を示す「まち・ひと・しごと創生 美郷版総合戦略」（以下「総合戦略」という。）を策定しました。計画の概要は、次のとおりです。

美郷版人口ビジョン（期間：平成22年～平成72年）

(1) 人口の現状

○本町の人口は、昭和20年の38,121人をピークに減少し、「平成の大合併」により2町1村が合併した平成16年に23,973人、平成26年度末に20,802人で、近年は毎年300人前後のペースで減少が続いています。

○年齢3区分別に見ると、平成26年度末時点で、年少人口（0～14歳）の割合は10%、生産年齢人口（15～64歳）は57%、老年人口（65歳以上）の割合は33%となっており、少子高齢化が著しく進行している状況です。

○国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）の推計による本町の将来人口は、平成22年に21,673人であった人口が、平成52年には13,362人、平成72年（2060年）には8,811人まで減少するとされています。

(2) 目指すべき将来の方向性

○「自然減」の抑制
若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえるため、特に、若い世代が理想とする第3子の出生の実現に向けて、経済的支援や就労支援など子育て環境の充実に取り組む必要があります。

○「社会減」の抑制
安定した雇用の創出、移住・定住促進による新しい人の流れをつくるため、特に、企業（起業）支援の充実、地域資源を活用した雇用の創出、移住・定住サポート体制の充実に取り組む必要があります。

○長期的かつ総合的な観点でのまちづくり
時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守り、地域と地域が連携した持続可能なまちづくりを進めるため、特に、地域資源の活用、地域の将来を支える人づくり、交流の促進に取り組む必要があります。

(3) 人口の将来展望

○本町の人口動向や将来人口推計の分析ならびに国の「長期ビジョン」および「秋田県人口ビジョン」等を踏まえ、町独自推計をすると、社人研推計で平成72年に8,811人とされている本町の人口は、12,159人となります。

町独自推計の概要

	【出生率】
2010年	1.35
2035年	1.83（国民の希望出生率）
2050年	2.07（人口置換水準）
2060年	国立社会保障・人口問題研究所の純移動率の2分の1以内

○本町の人口減少に対する各般の施策の実行による効果が現れ、合計特殊出生率と純移動率が仮定値のとおり改善されると、社人研推計値と比較して、平成72年には3,348人の人口減少に歯止めがかかります。

美郷版総合戦略 (期間：平成27年～平成31年)

総合戦略は、「第2次美郷町総合計画」で掲げるまちづくりの将来像の実現を基本的方向性に据え、人口問題を切り口に施策分野を整理し、「人口減少の克服」と「地方創生」の実現に特化した計画です。4つの「基本目標」を設定し、人口減少に歯止めをかけるとともに、人口減少社会に対応できるまちづくりを着実に進めていきます。

基本目標1

美郷における
安定した雇用を創出する

基本目標2

美郷への新しい人の流れをつくる

基本目標3

若い世代の結婚・出産・子育ての
希望をかなえる

基本目標4

時代にあった地域をつくり、
安心な暮らしを守るとともに、
地域と地域を連携する

4つの「基本目標」の実現に向けて実施する
施策(事業)は、次ページをご覧ください。

人口の長期展望

